



2020年11月25日

各 位

会社名 片倉工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 上甲 亮祐
(コード番号 3001 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員経営企画部長 水澤 健一
(TEL. 03 - 6832 - 0223)

通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年11月25日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2020年8月13日に公表した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)通期業績予想および、2020年2月14日公表の決算短信に記載の2020年12月期配当予想につきまして、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期 通期業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	38,600	2,500	3,250	1,600	45円90銭
今回発表予想(B)	39,400	3,000	3,800	2,500	71円74銭
増減額(B-A)	800	500	550	900	—
増減率(%)	2.1	20.0	16.9	56.3	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	44,043	2,569	3,430	1,732	49円42銭

2. 通期業績予想修正の理由

売上高につきましては、医薬品事業におけるニトログリセリン静注の販売増、不動産事業においてはコロナ禍によるテナント賃料減収があったものの、前回発表以降テナント売上高、テナント賃料水準ともに緩やかな回復基調にあることから、前回発表予想を上回る見通しであります。

営業利益につきましては、上述の医薬品事業、不動産事業の増収、各事業における経費節減による増益から前回発表予想を上回る見通しであります。また、当社が2017年以降取り組んできた構造改革による不採算事業からの撤退と採算性向上、労務費をはじめとする固定費の削減により前期実績につきましても上回る見通しであります。

さらに、本日発表の「特別利益(投資有価証券売却益)計上に関するお知らせ」に記載の投資有価証券売却等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見通しであります。

3. 2020年12月期 配当予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	—	14円00銭	14円00銭
今回修正予想	—	16円00銭	16円00銭
当期実績	—		
前期実績 (2019年12月期)	—	14円00銭 (普通配当 12円00銭) (記念配当 2円00銭)	14円00銭 (普通配当 12円00銭) (記念配当 2円00銭)

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上重要な政策の一つに位置付けております。

上述の株主様還元および内部留保のバランス等を踏まえ、前回公表において14円00銭としていました期末配当を1株当たり16円00銭とさせていただく予定です。

※上記の業績予想、配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上